

報道関係各位

2020年12月21日

サイレックス・テクノロジー株式会社

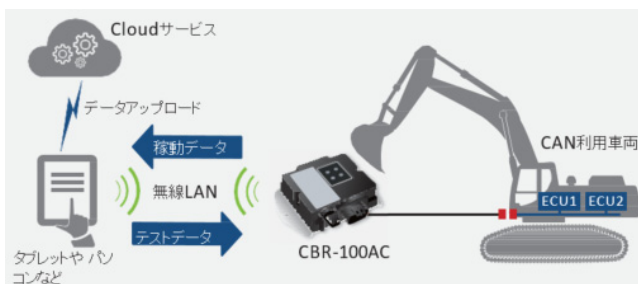
サイレックス・テクノロジー、第2世代CAN・無線ブリッジ『CBR-100AC』販売 ～CAN データを無線 LAN に変換・配信・ロギングし、産業車両の稼働率向上をサポート～

サイレックス・テクノロジー株式会社(本社:京都府精華町、代表取締役社長:三浦 暢彦、以下 サイレックス)は、CAN 通信を無線 LAN に変換する、働く車向け CAN・無線ブリッジの第2世代製品『CBR-100AC』を2月8日(月)に販売開始することを発表しました。

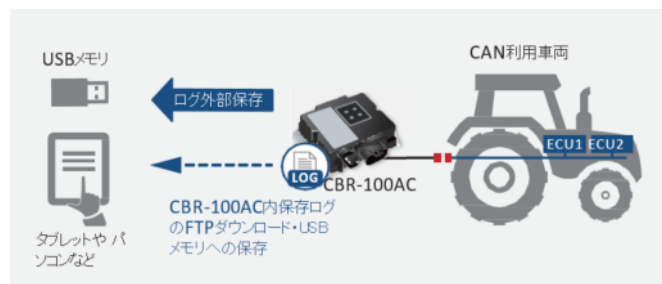
建機・農機をはじめとする多くの産業車両の制御では、ECU(Electronic Control Unit:電子制御装置)と共に、CAN(Control Area Network)通信プロトコルが利用されています。CAN 通信とそこから得られる情報を車両運用現場の PC・タブレット・スマートフォンで活用し、さらにIoT 遠隔サービスと連携させることで稼働監視・保守業務の効率化や車両ダウンタイムの削減を実現したいというニーズがますます拡大しています。このような用途において、一般的に販売されている CAN 通信端末では、対環境性仕様・価格の双方で産業車両メーカーの量産搭載条件を満たすことは困難でした。これらのメーカー要望に応えるべく、サイレックスでは2018年に第1世代のCAN・無線ブリッジ製品となる『CDS-2150』をリリースし、複数のメーカーの監視・保守サービスで導入していただきました。

第2世代製品となる『CBR-100AC』では、これまで好評いただいていた高効率な CAN/無線 LAN 変換機能や稼働ロガー機能、また高速起動や耐環境性仕様(動作温度、防塵防水対応等)など産業車両で必須となる機能を踏襲する一方、現場利用者から要望の高かった CAN ログタイムスタンプの高解像度化やログ転送時間の短縮を、内蔵 CPU や各種ドライバソフトを刷新することで実現。さらに製品内に蓄積されたログの圧縮機能を新たにサポートすることで、より長時間のログ収集・蓄積も可能にしました。これらのパフォーマンスアップにより、CBR-100AC は車両メーカー保守員の現場作業の効率化はもちろん、トラブルの早期復旧・ダウンタイムの削減を通じた産業車両の価値向上にさらに貢献できるようになりました。

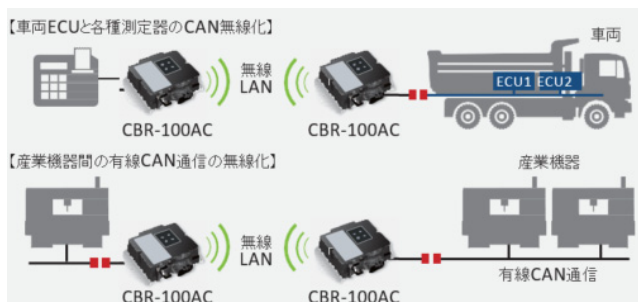
【CAN 通信の無線化】



【CAN 通信情報のロギング】



【有線 CAN 配線の無線ブリッジ(車両・機器間接続の省配線化)】



【『CBR-100AC』における動作パフォーマンスの向上 (サイレックス従来製品との比較)】

	CDS-2150 (従来製品)	CBR-100AC	効果
CPU 空き処理能力	7%	75%	複数機能の同時処理能力の向上
CAN ログタイムスタンプ解像度	5ms	1ms	より詳細な稼働情報・トラブル原因の分析
CAN ログ転送時間 ※1	約 600 秒	約 300 秒	CAN ログ回収時間の短縮
CAN ログ圧縮 ※2	なし	あり	より長時間の CAN ログ保存

※1 製品内に保存された 1.6GB の CAN ログデータを USB メモリに転送した場合。利用する USB メモリの種類により必要な転送時間は変動します。

※2 ログインする CAN データの内容やログ保存形式により圧縮率は変動します。

サイレックスは現在販売中の、より遠距離でのワイヤレス通信やカメラ映像にも対応した GDM-3250 と合わせ、リモート監視アプリ ケーションや IoT サービスと連携する働く車、搬送・産業機械などのメーカ向けに本製品を広く販売していきます。



利用用途イメージ：働く車(建機・農機)、搬送装置(フォークリフト等)向けのワイヤレス監視、省配線化

◆働く車向け CAN・無線ブリッジ『CBR-100AC』製品ページ：

http://www.silex.jp/products/device_networking/bridge/cbr100ac.html?pr=201221



『CBR-100AC』

【製品特長】

- CAN 通信に最適化された CAN・無線変換機能(Converter Server Mode)
- 有線 CAN 通信の無線ブリッジ機能(e-Cable Mode)
- 内蔵 eMMC ストレージを使った CAN ログ機能
 - IEEE 802.11b/g/n 2.4GHz 無線 LAN 対応
- 複数の外部接続インタフェースを標準でサポート
 - 無線 LAN x1、CAN x2、USB x1、RS-485/422 x1、デジタル入力 x2、デジタル出力 x1
- USB On The Go インタフェースを利用した CAN over USB 通信※3、USB メモリへの CAN ログ圧縮・保存機能
- 車載対応の耐環境性仕様
 - 動作温度(-30℃~65℃)、防塵防水(JIS D 0207F2/0203 D2 準拠)、耐振動・衝撃等
- ハードウェアやソフトウェアのカスタム対応やキittingサービス (個別対応)

※3 Windows® の Remote NDIS を利用した USB 有線ケーブルでの CAN 通信機能です。

サイレックス・テクノロジーについて https://www.silex.jp/index.html?pr=201221_2

サイレックス・テクノロジー株式会社(本社：京都府精華町)は、機器をネットワークやワイヤレスにつなげるハードウェア・ソフトウェアの技術を核とした研究開発型企业です。産業機械、医療機器、ディスプレイ機器など確実な接続性が求められる機器にもネットワークやワイヤレスのノウハウを活かした製品を提案し、ビジネスの幅を広げています。品質基準を厳格に保つため、設計・開発・生産・品質保証といった一連のプロセスを「けいはんな本社」に集約しています。海外パートナーとの連携や新市場開拓、新技術の情報収集・開発などグローバルなビジネス展開のため、北米・欧州・中国・インドに拠点を設けています。



・記載された社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。

【本プレスリリースに関するお問合せ先】

サイレックス・テクノロジー株式会社

PR 担当窓口：グローバルマーケティングセンター 製品戦略室

E-mail : press@silex.jp

Tel. 0774-98-3781 Fax. 0774-98-3767



Twitter : @silex_marcom

http://twitter.com/silex_marcom



Facebook :

<http://www.facebook.com/silexjp>